

## 環境データ

### ■エネルギー消費量

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	集計範囲
C重油*1 (千トン)	3,273	2,865	2,925	2,874	(株) 商船三井及び 主要な国内外の連結会社 (連結売上高に対するカバー率：97%)
A重油*1 (千トン)	255	253	282	243	
軽油 (Kリットル)	6,572	6,040	6,944	6,621	
LNG (千トン)	37	27	19	47	
バイオ燃料 (千トン)	-	-	-	9	
電力 (MWh)	86,924	76,951	80,475	77,604	
再生可能エネルギー利用量*3	237	248	3,532	39,983	
再生可能エネルギー利用割合 (%)	0.3	0.3	4.4	51.5	
都市ガス (千m3)	1,648	1,627	1,618	1,663	
エネルギー消費量*2 (千GJ)	158,105	142,492	146,748	143,150	

\*1 主に船舶の燃料として使用

\*2 C重油、A重油、バイオ燃料、電力、都市ガスおよびその他のエネルギー消費量の熱量換算値

\*3 主にオフィスなどにおける再生電力導入によるもの

### ■GHG排出量

GHG排出量算定の組織境界は「支配力基準」とし、「経営支配方式」を適用している。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	集計範囲
スコープ1 (トン) *1	11,136,501	9,831,022	10,112,053	10,086,254	(株) 商船三井及び 主要な国内外の連結会社 (連結売上高に対するカバー率：97%)
船舶	11,114,501	9,811,474	10,088,981	10,063,916	
船舶以外	22,000	19,548	23,072	22,338	
スコープ2 (トン) *2					
ロケーションベース	45,116	38,735	39,018	37,224	
マーケットベース	-	-	35,887	19,483	
スコープ3 (トン) *3	3,127,474	2,387,608	2,455,444	3,224,584	
Category1 購入した製品・サービス	51,067	40,138	43,292	50,420	
Category2 資本財	721,175	481,817	511,873	1,221,693	
Category3 Scope1,2に含まれない燃料及び エネルギー活動	1,546,750	1,402,678	1,454,777	1,397,333	
Category5 事業から出る廃棄物	477	638	907	653	
Category6 出張	7,957	1,774	2,045	9,081	
Category7 雇用者の通勤	283	282	71	210	
Category11 販売した製品の使用	799,765	460,281	442,479	545,194	
スコープ1+2 (トン)	11,181,617	9,869,757	10,147,940	10,105,737	
スコープ1+2+3 (トン)	14,309,091	12,257,365	12,603,384	13,330,321	

\*1 スコープ1：主に船舶燃料の燃焼を起源としたCO2

\*2 スコープ2：主に電力起源のCO2

\*3 スコープ3：主に使用した燃料の精製時のGHG排出や購入した資本財、船用品等が製造される時のGHG排出などで構成。増加の主要因は、新造船への投資増加によるCategory2の増加。

### 【GHG排出量データの第三者検証】

2022年度のGHG排出量データに対する公平性、確実性、および透明性を確保するために、一般財団法人日本海事協会による第三者検証を受けました。

検証はISO14064-3:2006、ISO14064-1:2006、GHGプロトコルなどに基づいて実施されました。

<検証の対象>

スコープ1(直接的排出量)、スコープ2(エネルギー起源の間接的排出量)、スコープ3(その他バリューチェーンからの間接的排出量)の排出量、およびエネルギー消費量。

[検証証明書 \(リンク\)](#)

■ GHG排出原単位

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	集計範囲
トンマイル当たりのGHG排出量 (g/ton-mile)	標準方式	10.86	10.46	10.46	10.32	(株) 商船三井及び 主要な国内外の外航船運航会社
	参考方式	10.86	9.90	10.74	10.81	

※標準方式、参考方式については「環境ビジョン2.2」のp.45を参照ください。

【GHG排出原単位データの第三者検証】

2022年度のGHG排出原単位データに対する公平性、確実性、および透明性を確保するために、一般財団法人日本海事協会による第三者検証を受けました。

[保証証明書 \(リンク\)](#)

[附属書 \(リンク\)](#)

■ NOx・SOx排出量

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	集計範囲
NOx排出量 (千トン)		272	231	231	231	(株) 商船三井及び 主要な国内外の船舶運航会社 (連結売上高に対するカバー率：81%)
SOx排出量 (千トン)		130	24	28	28	

【SOx排出量データの第三者検証】

2022年度のSOx排出量データに対する公平性、確実性、および透明性を確保するために、一般財団法人日本海事協会による第三者検証を受けました。

[検証証明書 \(リンク\)](#)

■ NOx・SOx排出原単位

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	集計範囲
トンマイル当たりのNOx排出量 (g/ton-mile)		0.25	0.23	0.22	0.21	(株) 商船三井及び 主要な国内外の外航船運航会社
トンマイル当たりのSOx排出量 (g/ton-mile)		0.12	0.02	0.03	0.02	

■ その他資源

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	集計範囲
廃棄物排出量 *1 (トン)		2,723	2,478	2,905	3,531	(株) 商船三井及び 主要な国内の連結会社 (連結売上高に対するカバー率：97%)
	リサイクル可能	1,637	1,323	1,340	1,825	
	リサイクル以外	1,086	1,155	1,565	1,706	
リサイクル率 (%)		60.1	53.4	46.1	51.7	
総取水量 *2 (m3)		599,478	410,230	403,406	632,754	(株) 商船三井及び 主要な国内外の連結会社 (連結売上高に対するカバー率：97%)
	水道水	599,478	410,230	403,406	632,754	
	淡水	-	-	-	-	
	海水 (循環利用)	-	-	-	-	
シップリサイクル量 (トン)		37,160	75,007	-	-	(株) 商船三井

\*1 オフィスから出るごみなどの合計。

\*2 事務所における水使用量。船舶では、使用する水の多くを、海水から生成し循環利用。前年比の増加はカバー率向上によるもの。

■ 有害廃棄物排出量

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	集計範囲
有害廃棄物排出量 (トン) *1		1.84	15.01	8.86	0.57	(株) 商船三井及び 一部の国内の連結子会社 (連結売上高に対するカバー率：77%)

\*1 PCB含有機器の処分量の合計値。

■ 環境投資額

		2020年度	2021年度	2022年度	集計範囲
環境投資額 (億円)		644	1,194	2,066	(株) 商船三井及び 国内外の連結子会社
	代替燃料船隊整備 *1	56	224	380	
	低・脱炭素エネルギー事業拡大 *2	588	970	1,686	

\*1 LNG燃料バルカー、自動車船他次世代燃料船の開発・発注等への投資であり、自社事業におけるGHG、NOx・SOx等の環境負荷物質の排出削減を企図するもの。

本内容は環境省環境会計ガイドラインにおける研究開発コストおよび事業エリア内コストに相当する。

\*2 新造LNG船・LPG/アンモニア船他洋上風力発電及び関連事業への投資であり、社会からのGHG排出削減への貢献を企図するもの。

■ 環境関連法規違反

		2020年度	2021年度	2022年度	集計範囲
環境関連法規違反	件数	0	0	0	(株) 商船三井
	金額 (百万円)	0	0	0	

※ 10,000米ドルを超える罰金を科された案件